

令和6年5月31日

各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

最近「おにぎり」の専門店を界限でよく見かけます。またテレビ番組等でもよく紹介されています。そのおにぎりブームを作ったのが東京の大塚に店を構える「ぼんご」という1960年に創業したカウンター12席の小さなお店です。平日は3、4時間の行列は当たり前で休日は8時間待ちとなるそうです。その店の女性オーナーを取材した記事を以前に見たのでここに記します。

彼女は新潟出身で高校卒業後に上京。偶然に当時のお店のオーナーがされている「ぼんご」でおにぎりを食べていた時に見そめられて結婚し24歳で店を手伝うようになりました。おにぎりを握るのは一見、簡単なことと思われかもしれませんがご飯の真ん中に窪みを作って空気を含ませながらふんわりと包むように握るのは熟練の技が必要で彼女は毎日数百個のおにぎりを握り続けたとのこと。ご主人が脳梗塞で倒れてからは一人でお店を切り盛りし、朝の4時に起きて6時から一人で仕込みをして11時半の開店から23時の閉店まで働き詰めだったとのこと。閉店後に伝票整理をして帰宅して数時間寝て翌朝出勤という生活を数年間休まず続けられたとのこと。その後ご主人も亡くなりさらに辛い日が続きました。

その時の迷いを断ち切れた原因はお店でおにぎりを頬張る「お客様の喜ぶ姿」でした。その姿を改めて見て、この道で生きていくという確信が持てたとのこと。そこから毎日1000個以上のおにぎりを握りながら後進の育成にも励み、これまでに30名を超える弟子を受け入れて15以上の派生店が日本のみならず世界中に出店しています。47年間おにぎり一筋で歩んできた方の感慨深い話でした。

【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々